

「剃髪戦隊☆ ボーズナンジャー」

【世界観と概要】和製ファンタジー。大体19世紀末あたりの時代背景、幕末と戦国時代を足して二で割った感じの（群雄割拠ならびに諸外国の影響、的意味で）各地の大名たちの限りない欲望を封じた「煩惱の封印珠」を、山口さんちのツトムくんがうっかりで割ってしまい、中に封じられていた百八の煩惱が大和の国中に飛び散ってしまう。煩惱を集め、再び封印しなおすために、三人のボーズナンジャーたちが立ち上がる。彼らは煩惱を集めながら、まだ二人いるはずのボーズ仲間を探して旅を続ける。だが、彼らも出家した身ながら人間なので、自らが煩惱に囚われそうになることもあり、そこに人間ドラマが生まれる。（色欲に悩むレッド、金銭欲に悩むグリーン、お肌のハリに悩むピンクなどの煩惱が複雑に絡み合いストーリーを醸成していくさまが、一番魅せたいところ）

【キャラクター】

英生（えいしょう）：

18歳、ヒーロー。深山にある密教系の葉夏寺（はげでら）で学ぶ修行僧だったが、ある日、ご本尊の毎日如来（まいにちによらい）さまの託宣を受け、剃髪戦士に変身して戦う「得度パワー」を授かり、正義の戦士・ボーズレッドとして国中に飛び散った百八の煩惱を集める旅に出る。青光り系のスキンヘッド。

麗鵬（れいほう）：ヒロイン。年齢不詳。僧位は僧正。ボーズピンク。ねっとりお色気系のスキンヘッド。武器は「毒には毒を！煩惱には煩惱で！」……な色仕掛け。

宝泉（ほうせん）：読経も詩吟もロックもヘヴィメタも歌って戦える剃髪戦士。20歳。変身後、殺人音波を出せる一撃必殺の琵琶型ウェポン「ヘイケモノガタリ」をかきならして戦う。ごましお系の自らのスキンヘッドに若干の恥じらいを抱いており、普段は金髪のカツラで素肌を隠している。このかつらは、彼のパッションメーターが限界を振り切れると、飛ぶ。

カラーはボーズグリーン。

ハイすみません、そろそろ黙ります